平成24年10月期　第３四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成24年9月13日

上場会社名	株式会社オハラ		上場取引所　東
コード番号	5218	ＵＲＬ　http://www.ohara-inc.co.jp/	
代表者	（役職名）代表取締役社長	（氏名）齋藤　弘和	
問合せ先責任者	（役職名）常務取締役 経営企画、経理担当	（氏名）中島　隆	ＴＥＬ　042（772）2101
四半期報告書提出予定日	平成24年9月14日	配当支払開始予定日	－

四半期決算補足説明資料作成の有無：　無

四半期決算説明会開催の有無　　：　無

（百万円未満切捨て）

１．平成24年10月期第３四半期の連結業績（平成23年11月1日～平成24年7月31日）

（１）連結経営成績（累計）　　（%表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年10月期第３四半期	23,464	15.8	967	22.5	1,247	42.0	879	60.5
23年10月期第３四半期	20,257	△0.7	789	△69.2	878	△66.7	548	△68.8

（注）包括利益　24年10月期第３四半期　362百万円（△53.0%）　23年10月期第３四半期　772百万円（－%）

	１株当たり四半期純利益	潜在株式調整後１株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年10月期第３四半期	36.16	－
23年10月期第３四半期	22.53	－

（２）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	１株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
24年10月期第３四半期	58,056	40,337	68.9	1,644.62
23年10月期	57,879	40,490	69.4	1,651.49

（参考）自己資本　24年10月期第３四半期　40,006百万円　23年10月期　40,173百万円

２．配当の状況

	年間配当金				
	第１四半期末	第２四半期末	第３四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年10月期	－	0.00	－	20.00	20.00
24年10月期	－	0.00	－		
24年10月期（予想）				20.00	20.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無：　無

３．平成24年10月期の連結業績予想（平成23年11月1日～平成24年10月31日）

（%表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		１株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	31,800	11.0	1,400	△14.9	1,600	△1.5	900	3.9	37.00

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無：　有

※　注記事項

（１）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：有
新規　1社　（社名　台湾小原光学材料股份有限公司）、除外　　－　社　（社名）

（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

①　会計基準等の改正に伴う会計方針の変更	：無
②　①以外の会計方針の変更	：無
③　会計上の見積りの変更	：無
④　修正再表示	：無

（４）発行済株式数（普通株式）

①　期末発行済株式数（自己株式を含む）	24年10月期３Ｑ	25,450,000株	23年10月期	25,450,000株
②　期末自己株式数	24年10月期３Ｑ	1,124,474株	23年10月期	1,124,372株
③　期中平均株式数（四半期累計）	24年10月期３Ｑ	24,325,589株	23年10月期３Ｑ	24,325,637株

※　四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了しております。

※　業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信（添付資料）３ページ「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

１．当四半期決算に関する定性的情報 …… 2
（１）連結経営成績に関する定性的情報 …… 2
（２）連結財政状態に関する定性的情報 …… 3
（３）連結業績予想に関する定性的情報 …… 3
２．サマリー情報（注記事項）に関する事項 …… 3
（１）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 …… 3
（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 …… 3
（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 …… 3
３．四半期連結財務諸表 …… 4
（１）四半期連結貸借対照表 …… 4
（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 …… 6
四半期連結損益計算書
第３四半期連結累計期間 …… 6
四半期連結包括利益計算書
第３四半期連結累計期間 …… 7
（３）継続企業の前提に関する注記 …… 8
（４）セグメント情報等 …… 8
（５）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 …… 8
（６）重要な後発事象 …… 8

１．当四半期決算に関する定性的情報

（１）連結経営成績に関する定性的情報

当第３四半期連結累計期間における世界経済は、欧州債務問題や中国内需の減速等により、低成長で推移しました。アジア地域では、欧州経済の減速による景気下押しが続き、中国では景気対策による効果も限定的となりました。また、米国では雇用や消費の停滞感が強まり、欧州地域では債務問題から景気低迷が続きました。わが国経済は東日本大震災の復興需要等を背景に、緩やかな回復が続くものの、輸出については弱含みの動きが見られました。

当社グループが関連する光事業の関連機器市場では、デジタルカメラはタイ洪水からの復旧生産が本格化し、コンパクトタイプは需要の減少がみられたものの、一眼レフタイプや交換レンズは各地域で需要が好調に推移しました。エレクトロニクス関連機器市場では、ハードディスクドライブはタイ洪水の影響から生産復旧したものの、ノートパソコンの出荷低迷により、需要は伸び悩みました。また、産業機器市場では、液晶露光装置は需要の低迷が続きました。

このような状況のもと、当第３四半期連結累計期間の業績は、次のとおりとなりました。

売上高は、ハードディスク用ガラス基板材の需要が大幅に減少したものの、一眼レフカメラや交換レンズ向け光学機器用レンズ材の需要が堅調に推移したことから、23,464百万円（前年同期比15.8％増）となりました。

損益面では、レアアース原料の払出単価の高止まりが続いたものの、ハードディスク用ガラス基板材の製造固定費の削減効果などにより、売上総利益は5,175百万円（同6.0％増）となりました。販売費及び一般管理費は、研究開発費など一部経費が増加したことにより、4,208百万円（同2.9％増）となり、営業利益は、967百万円（同22.5％増）となりました。経常利益は、為替差損が減少し、持分法による投資利益を計上したことなどにより1,247百万円（同42.0％増）となりました。

四半期純利益は、法人税等の計上額が減少したことなどにより、879百万円（同60.5％増）となりました。

セグメント別の業績は次のとおりであります。

なお、第１四半期連結会計期間より、営業費用の配賦方法を変更しております。セグメント情報の期間比較可能性を確保するために、前第３四半期連結累計期間のセグメント情報について、営業費用の配賦方法変更後の金額を使用しております。詳細は、３．四半期連結財務諸表（４）セグメント情報等をご覧下さい。

①　光事業

当事業の主力製品であります光学プレス品及び光学ブロック品は、一眼レフカメラや交換レンズの生産が好調に推移したことから、販売が増加しました。損益面では、レアアース原料の払出単価の上昇が続いたことから、利益率が悪化しました。

これらの結果、当事業の売上高は17,770百万円（前年同期比23.3％増）、営業利益は1,078百万円（同15.9％減）となりました。

②　エレクトロニクス事業

当事業の主力製品でありますハードディスク用ガラス基板材は、市場の伸び悩みなどにより、需要が停滞し、半導体露光装置向け高均質光学ガラスや液晶露光装置向け極低膨張ガラスセラミックスの販売は伸び悩みました。一方、石英ガラスの需要は好調に推移しました。

これらの結果、当事業の売上高は5,694百万円（前年同期比2.5％減）、営業損失は110百万円（前年同期は492百万円の営業損失）となりました。

（２）連結財政状態に関する定性的情報

当第３四半期連結会計期間末における総資産は58,056百万円（前連結会計年度末比0.3%増）となりました。

流動資産の残高は30,061百万円（同2.2%増）となりました。これは、原材料及び貯蔵品は減少したものの、借入金を増加させたことにより現金及び預金が増加したことなどが主な要因であります。

固定資産の残高は27,994百万円（同1.7%減）となりました。これは、有形固定資産は減価償却などにより減少したことや、投資有価証券が時価評価により減少したことなどが主な要因であります。

流動負債の残高は11,560百万円（同9.0%減）となりました。これは、短期借入金が増加したものの、支払手形及び買掛金が減少したことなどが主な要因であります。

固定負債の残高は6,158百万円（同31.4%増）となりました。これは、繰延税金負債の減少や特別修繕引当金の取崩による減少があったものの、長期借入金が増加したことなどが主な要因であります。

当第３四半期連結会計期間末における純資産の残高は40,337百万円（同0.4%減）となりました。これは、四半期純利益の計上などがあったものの、その他有価証券評価差額金や為替換算調整勘定の減少があったことなどが主な要因であります。

（３）連結業績予想に関する定性的情報

当社グループの通期業績予想につきましては、当第３四半期連結累計期間の状況を踏まえ、平成23年12月15日公表の前回予想を下回る見込であることから、業績予想を修正いたしました。詳細につきましては本日発表の「通期業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

２．サマリー情報（注記事項）に関する事項

（１）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

第２四半期連結会計期間より、台湾小原光学材料股份有限公司は、新規設立したことにより連結の範囲に含めております。

（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

３．四半期連結財務諸表
（１）四半期連結貸借対照表

（単位：千円）

	前連結会計年度 （平成23年10月31日）	当第３四半期連結会計期間 （平成24年７月31日）
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	6,192,541	7,355,831
受取手形及び売掛金	9,012,342	9,050,191
有価証券	8,615	8,619
商品及び製品	1,579,516	2,175,778
仕掛品	5,513,480	5,913,796
原材料及び貯蔵品	5,753,863	4,488,451
繰延税金資産	399,945	501,374
その他	967,076	585,814
貸倒引当金	△20,329	△17,981
流動資産合計	29,407,053	30,061,876
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	9,611,589	9,650,525
減価償却累計額	△5,170,436	△5,407,907
建物及び構築物（純額）	4,441,152	4,242,617
機械装置及び運搬具	20,762,535	20,726,823
減価償却累計額	△13,791,843	△14,473,440
機械装置及び運搬具（純額）	6,970,691	6,253,383
工具、器具及び備品	12,377,061	12,456,609
減価償却累計額	△1,703,323	△1,809,828
工具、器具及び備品（純額）	10,673,738	10,646,780
土地	201,934	304,180
建設仮勘定	348,192	688,211
有形固定資産合計	22,635,709	22,135,172
無形固定資産	92,926	88,396
投資その他の資産		
投資有価証券	4,556,064	4,533,703
長期貸付金	460,779	460,142
繰延税金資産	11,093	10,187
その他	715,938	766,861
投資その他の資産合計	5,743,875	5,770,895
固定資産合計	28,472,511	27,994,463
資産合計	57,879,565	58,056,340

（単位：千円）

	前連結会計年度 （平成23年10月31日）	当第３四半期連結会計期間 （平成24年７月31日）
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	5,071,329	3,237,206
短期借入金	5,331,640	6,159,714
未払法人税等	234,009	294,266
賞与引当金	605,885	398,876
役員賞与引当金	76,042	35,262
未払金	956,152	919,340
その他	425,884	515,408
流動負債合計	12,700,944	11,560,075
固定負債		
長期借入金	2,280,000	4,383,332
繰延税金負債	1,185,269	765,374
退職給付引当金	718,708	743,098
役員退職慰労引当金	169,446	164,044
特別修繕引当金	140,000	－
環境対策引当金	3,725	3,725
資産除去債務	92,949	92,949
その他	97,652	6,170
固定負債合計	4,687,752	6,158,694
負債合計	17,388,696	17,718,770
純資産の部		
株主資本		
資本金	5,855,000	5,855,000
資本剰余金	7,930,785	7,930,785
利益剰余金	29,632,295	30,024,958
自己株式	△1,548,963	△1,549,049
株主資本合計	41,869,116	42,261,694
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,610,905	1,302,272
為替換算調整勘定	△3,306,493	△3,557,825
その他の包括利益累計額合計	△1,695,587	△2,255,553
少数株主持分	317,340	331,428
純資産合計	40,490,868	40,337,569
負債純資産合計	57,879,565	58,056,340

（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
（四半期連結損益計算書）
（第３四半期連結累計期間）

（単位：千円）

	前第３四半期連結累計期間 （自　平成22年11月１日 至　平成23年７月31日）	当第３四半期連結累計期間 （自　平成23年11月１日 至　平成24年７月31日）
売上高	20,257,427	23,464,851
売上原価	15,376,825	18,289,381
売上総利益	4,880,601	5,175,469
販売費及び一般管理費	4,090,666	4,208,034
営業利益	789,935	967,435
営業外収益		
受取利息	13,295	17,735
受取配当金	73,569	66,368
受取地代家賃	8,034	8,235
持分法による投資利益	－	93,241
試作品等売却収入	14,130	105,274
業務受託料	88,000	－
その他	80,721	100,873
営業外収益合計	277,751	391,727
営業外費用		
支払利息	49,358	62,006
為替差損	106,860	24,618
持分法による投資損失	13,172	－
その他	19,964	25,325
営業外費用合計	189,356	111,950
経常利益	878,330	1,247,212
特別利益		
固定資産売却益	10,188	3,625
退職給付制度改定益	551,266	－
特別修繕引当金戻入額	－	143,200
特別利益合計	561,454	146,825
特別損失		
固定資産売却損	6,152	－
固定資産除却損	18,523	48,488
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	86,831	－
災害による損失	46,231	－
特別損失合計	157,739	48,488
税金等調整前四半期純利益	1,282,045	1,345,549
法人税等	696,222	423,549
少数株主損益調整前四半期純利益	585,823	922,000
少数株主利益	37,657	42,406
四半期純利益	548,166	879,593

（四半期連結包括利益計算書）
（第３四半期連結累計期間）

（単位：千円）

	前第３四半期連結累計期間 （自　平成22年11月１日 至　平成23年７月31日）	当第３四半期連結累計期間 （自　平成23年11月１日 至　平成24年７月31日）
少数株主損益調整前四半期純利益	585,823	922,000
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	126,566	△308,632
為替換算調整勘定	85,530	△276,967
持分法適用会社に対する持分相当額	△25,585	26,212
その他の包括利益合計	186,511	△559,386
四半期包括利益	772,335	362,613
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	716,964	319,628
少数株主に係る四半期包括利益	55,370	42,984

（３）継続企業の前提に関する注記
該当事項はありません。

（４）セグメント情報等

Ⅰ　前第３四半期連結累計期間（自平成22年11月１日　至平成23年７月31日）
１．報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：千円）

	光事業	エレクトロニクス事業	合計（注）
売上高			
(1) 外部顧客への売上高	14,418,126	5,839,300	20,257,427
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	－	－	－
計	14,418,126	5,839,300	20,257,427
セグメント利益又は損失（△）	1,282,901	△492,966	789,935

（注）セグメント利益又は損失の合計額は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

Ⅱ　当第３四半期連結累計期間（自平成23年11月１日　至平成24年７月31日）
１．報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：千円）

	光事業	エレクトロニクス事業	合計（注）
売上高			
(1) 外部顧客への売上高	17,770,773	5,694,077	23,464,851
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	－	－	－
計	17,770,773	5,694,077	23,464,851
セグメント利益又は損失（△）	1,078,325	△110,889	967,435

（注）セグメント利益又は損失の合計額は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

２．報告セグメントの変更等に関する事項
（報告セグメントの利益又は損失の算定方法の変更）
提出会社の販売費及び一般管理費については、経営管理の手法を見直した結果、当連結会計年度より各報告セグメントの売上原価に基づき配賦する方法へ変更しております。なお、前第３四半期連結累計期間のセグメント情報も、変更後の配賦基準で表示しております。

（５）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記
該当事項はありません。

（６）重要な後発事象
該当事項はありません。